# 「戦争か平和か」

2018年3月12日

# 宴のあと――戦争か平和か？

平和！？

●米・韓・北は当面
戦争回避で一致？
●問題先送り
●最終的に米国は北朝鮮の
核保有容認へ

# アメリカが北朝鮮を攻撃しない理由

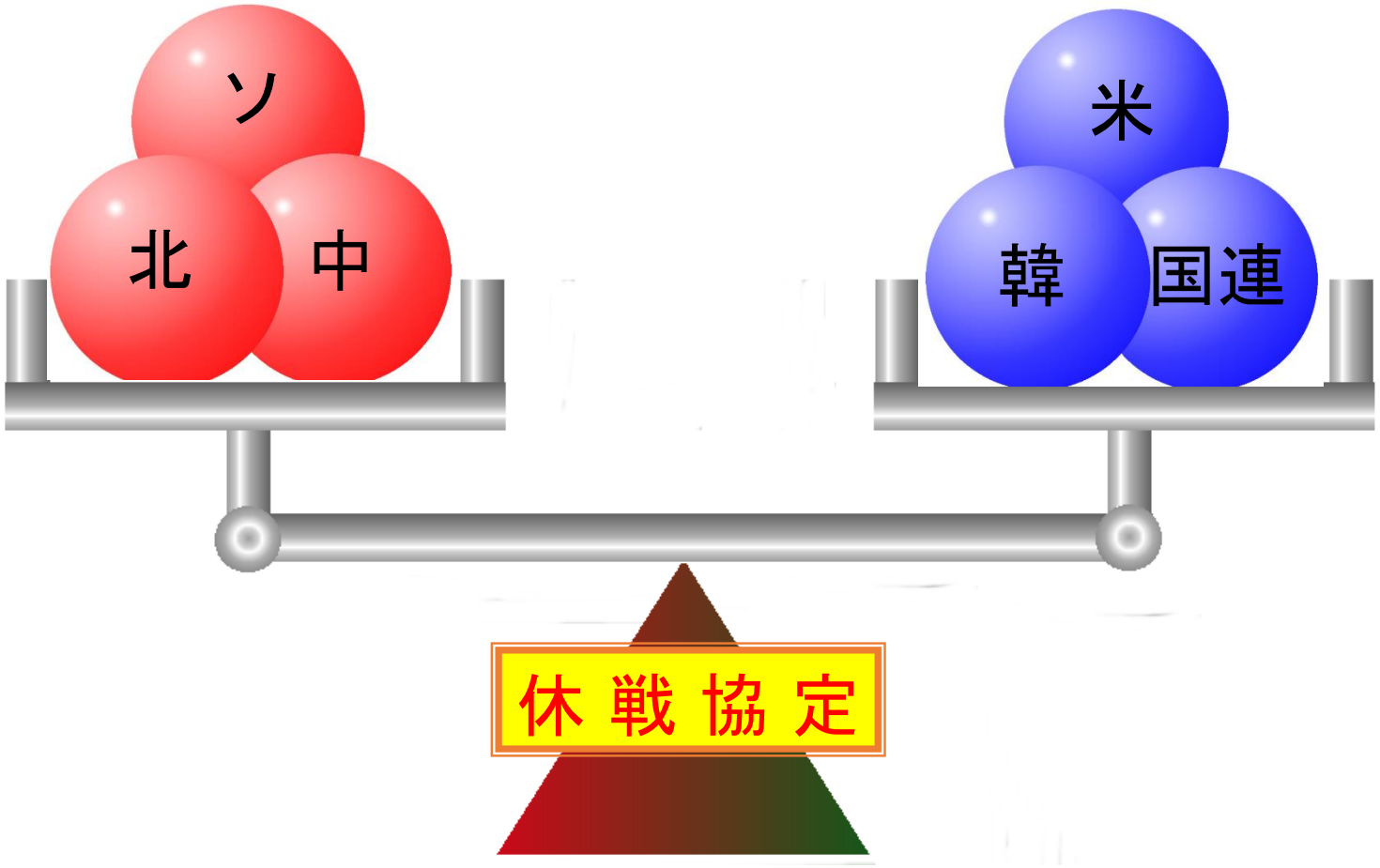
- 北東アジアの戦略バランスの激変する恐れ
- 迂遠な南北統一または北朝鮮再建が必要となる
- 夥しい人的・物的損害が生ずる
- 米中戦争へのエスカレートのリスク

# 北東アジアの戦略バランスの激変する恐れ

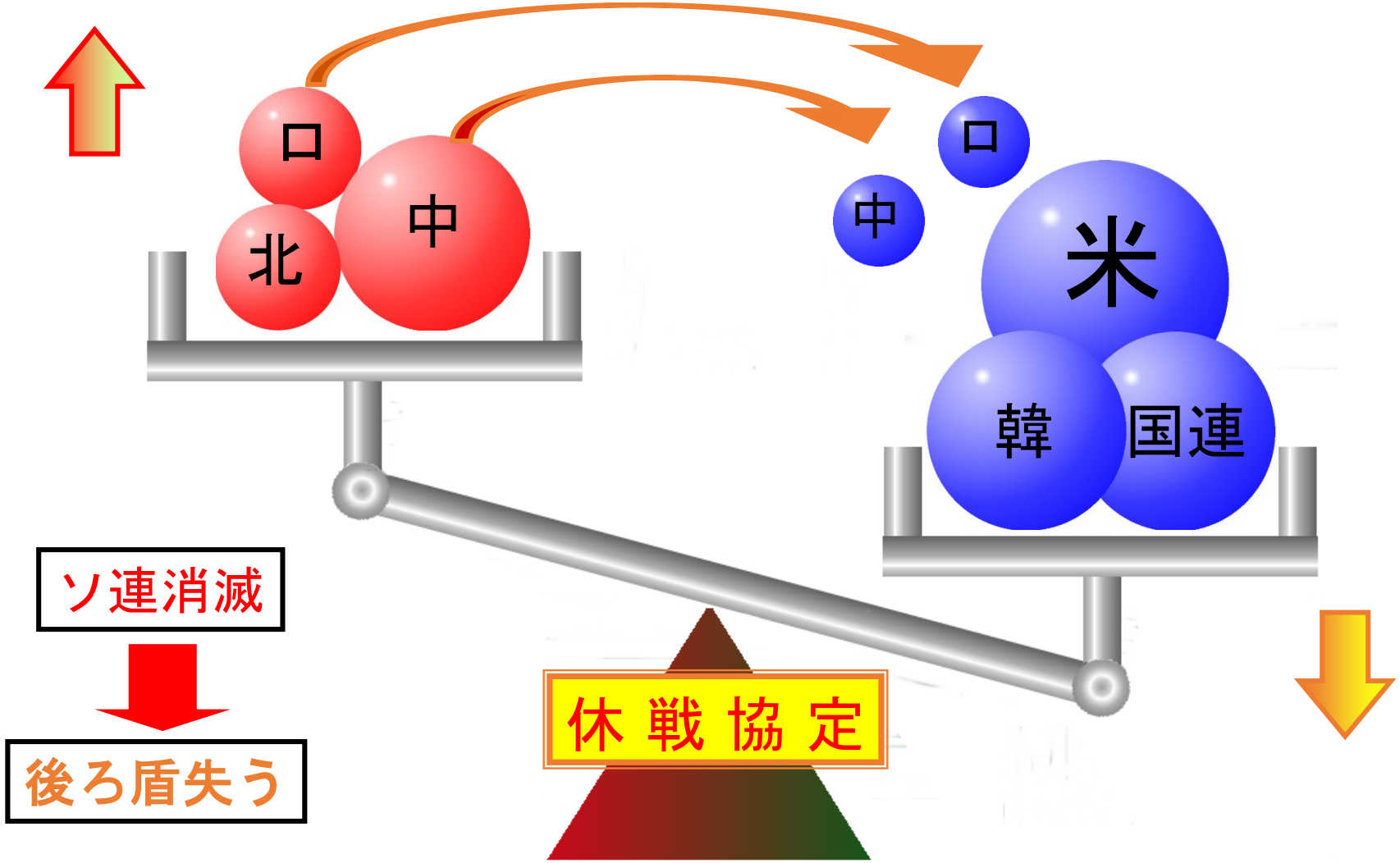
## 朝鮮半島の戦略バランスの推移

# 南北の軍事バランス
# （休戦～冷戦崩壊まで）

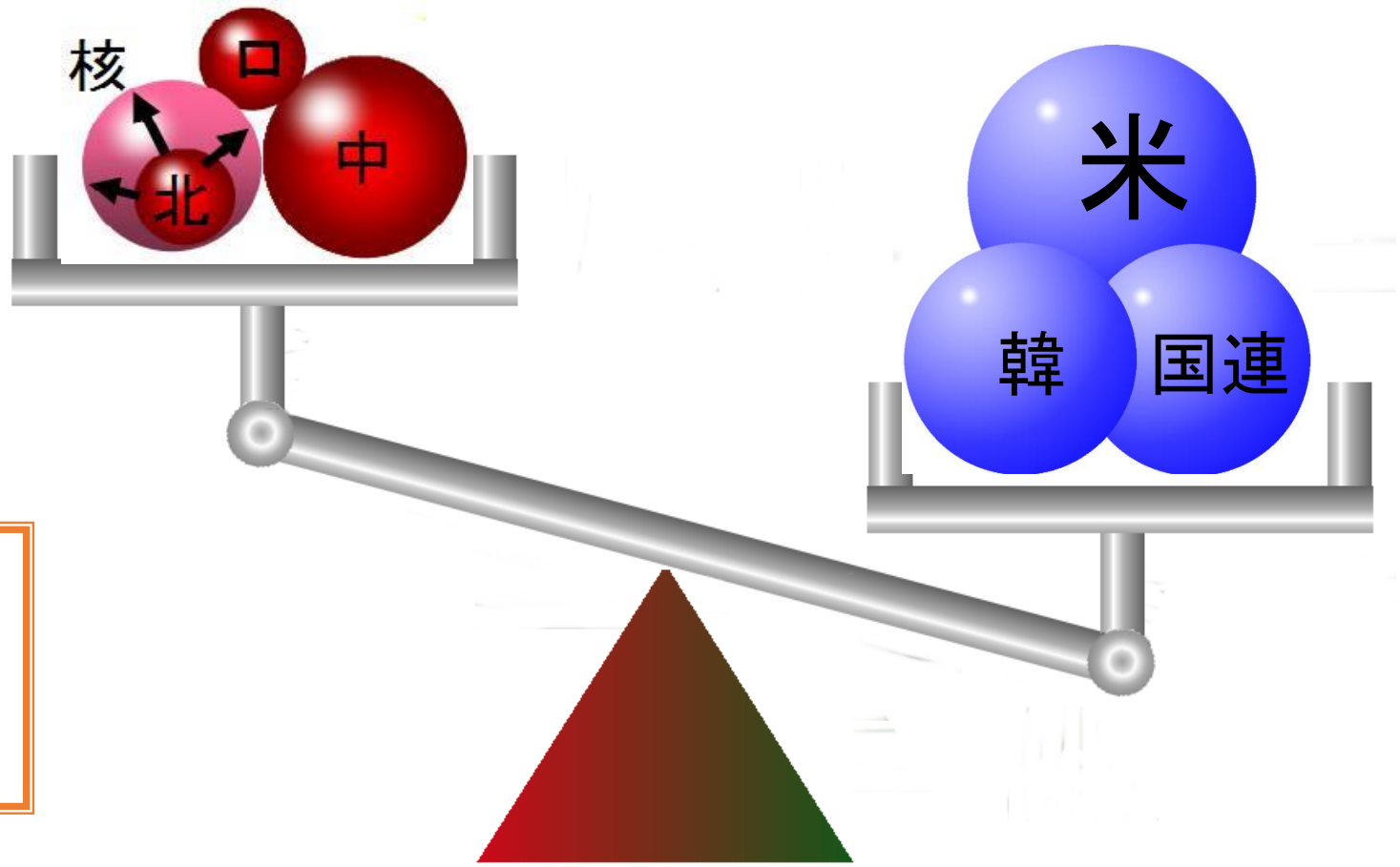
**中・ソの後ろ盾**



# 南北の軍事バランス
# （冷　戦　直　後）



# 南北の軍事バランス
# （北朝鮮・核ミサイル開発）

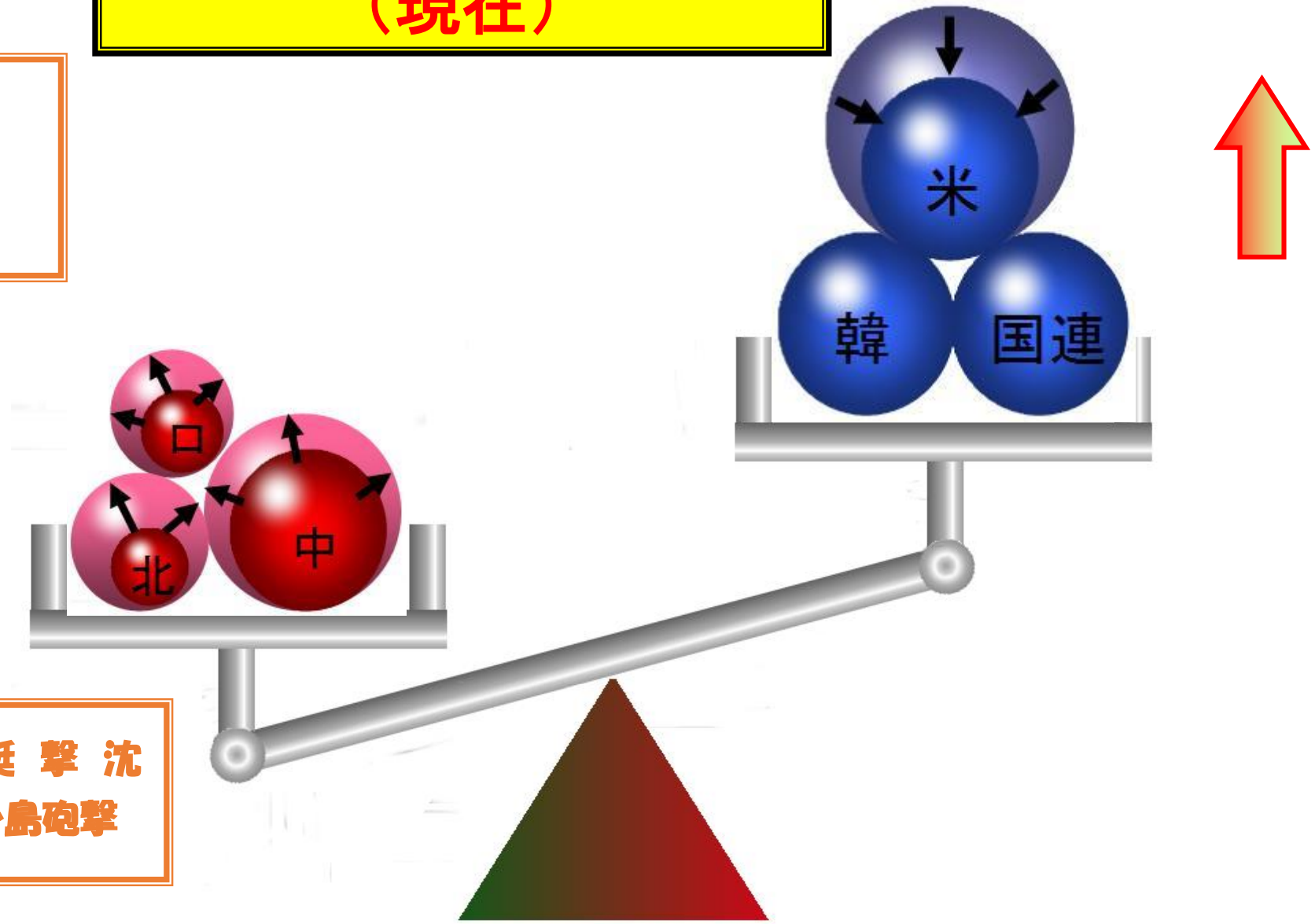



北朝鮮

核開発

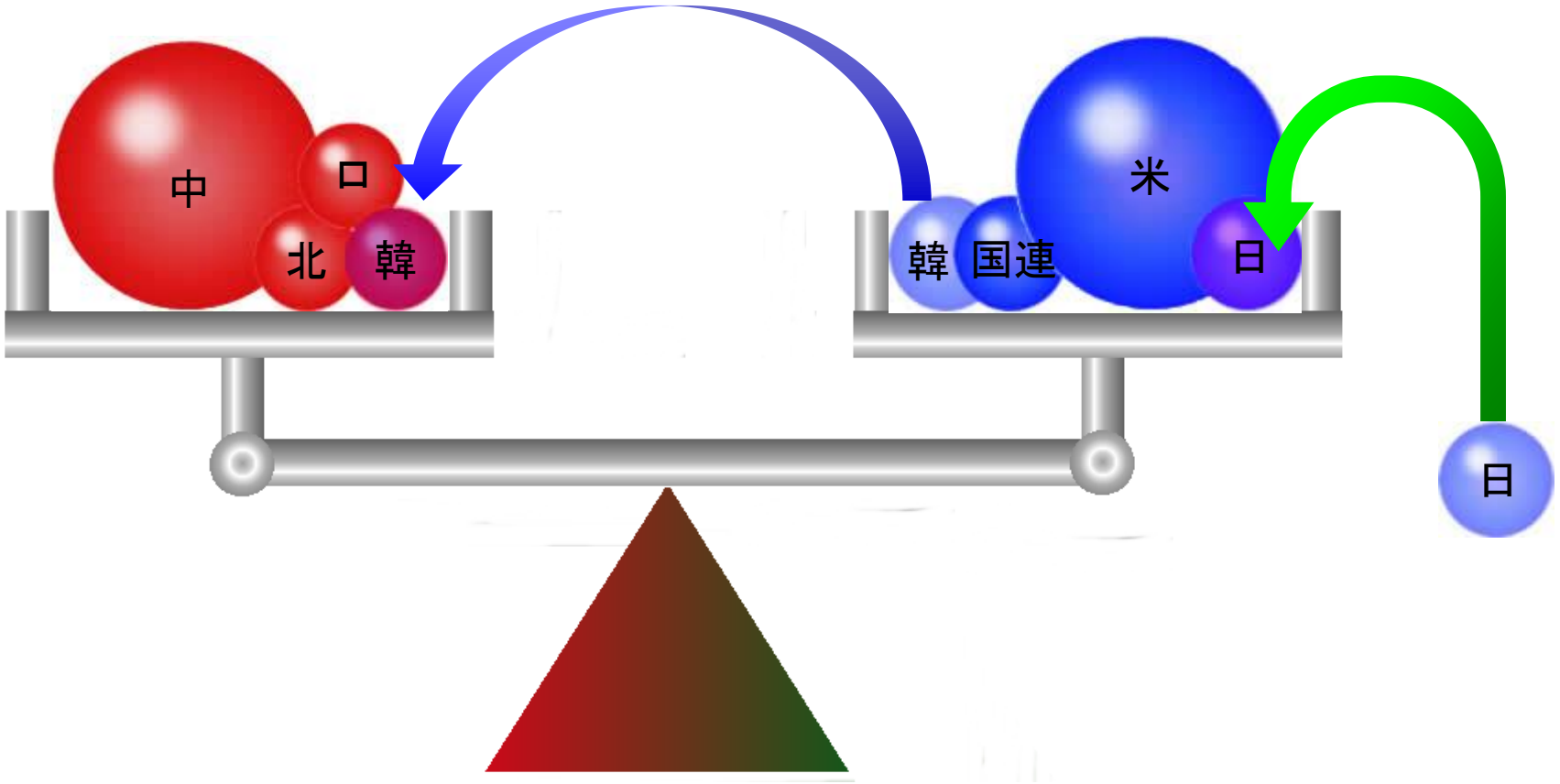
# 南北の軍事バランス
# （現在）

中国の台頭
米国の凋落
ロシアの復興

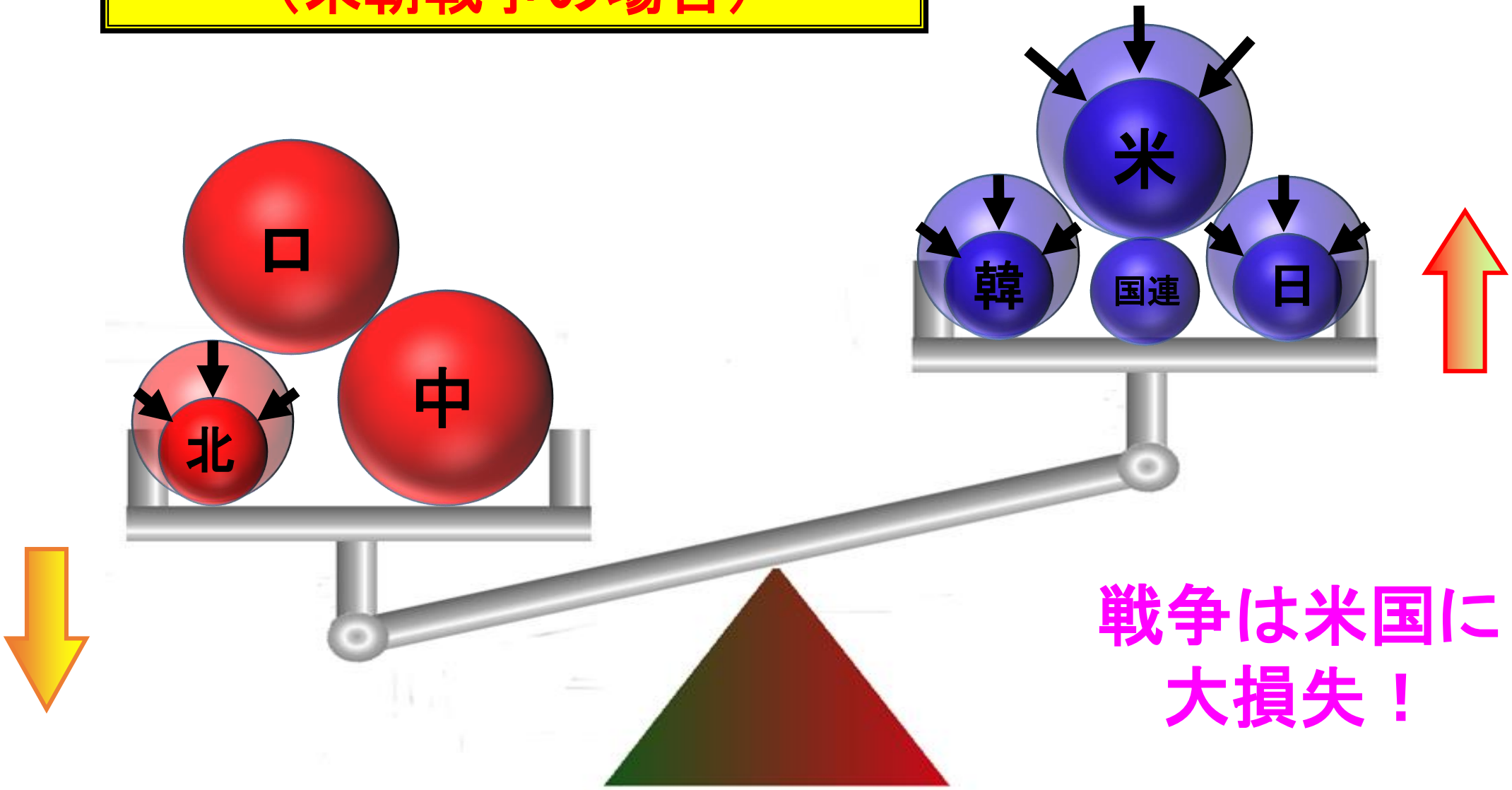



哨戒艇撃沈
ヨンピョン島砲撃

# 南北の軍事バランス
# （新たな軍事バランスの形成）



# 南北の軍事バランス
# （米朝戦争の場合）




戦争は米国に
大損失！

# 迂遠な南北統一または北朝鮮再建が必要となる

- アメリカの先制攻撃⇒①斬首作戦⇒②北朝鮮軍の撃破⇒
  ③全土占領⇒④南北統一または北朝鮮再建…イラクでの苦労

- 統一または再建のコスト

  統一直前の旧東ドイツの人口は旧西ドイツの4分の1にすぎなかったが、北朝鮮の人口は韓国の2分の1で、1人当たりの国内総生産（GDP）は旧東ドイツが旧西ドイツの50%だった半面、北朝鮮は韓国の6%にも及ばないと指摘した。

# 夥しい人的・物的損害が生ずる

●第一次核危機（1994年）の場合

米軍による同年5月の試算では、朝鮮半島で戦争が勃発すれば、最初の90日間で米軍兵士の死傷者が5万2000人、韓国軍の死傷者が49万人とされた。

●米ジョンズ・ホプキンズ大の北朝鮮分析サイト「38ノース」の試算

　北朝鮮が東京とソウルに核兵器（現在の北朝鮮の核兵器の能力を、爆発力25kt、爆発確率80%と推定する）を使用すれば、死者は210万人、負傷者は770万人にのぼる。さらに、「38ノース」のシミュレーションでは、最大爆発能力250ktのときの被害もシミュレーションしており、そのときの死傷者数は、東京だけで800万人を超える！

# 米中戦争へのエスカレートのリスク

- 第一次朝鮮戦争時、毛沢東はあれほどの米中の戦力格差をものともせず、人民義勇軍を参戦させた
- ベトナム戦争時、米国は米中戦争を恐れてきたベトナムに侵攻せず、北爆に留めた
- 過去に比べ、米中間のパワーバランスは相対的に接近

# 北朝鮮の**戦争回避**の思惑

- 斬首作戦の回避
- 米国主導の制裁の深刻化

# 韓国の**戦争回避**の思惑

- 国土が灰燼に帰す
- 一千万以上の死傷者

# 韓国・北朝鮮合作の背景・狙い

- 同床同夢ー文は共産主義者か？
- 朝鮮民族という立場からの判断
- 戦争回避は共通利益⇒敵は米国
- 物的人的損害の回避
- 南北共同の欺瞞作戦

# 中国の戦争回避の思惑

●米中戦争リスクの回避

※1北朝鮮の核保有は許容

※2北朝鮮カードの喪失

# 米朝交渉の展望

- 北朝鮮は時間稼ぎ⇒トランプレームダックまで
- 契約の文化と欺瞞の文化⇒アメリカは騙される
- 最終的には核黙認（イスラエル方式：neither confirm nor deny ）
- ICBMの廃止で、IRBM黙認が落としどころか

# 日本にとっても戦争回避が絶対

●北朝鮮の核攻撃による
日本人の被爆は絶対回避すべきだ

「ノーモア広島、ノーモア長崎」

●核武装した北朝鮮を如何に抑止するか？・・・
が焦点

# アメリカが北朝鮮の核を容認する場合の日本の対応

●核武装した北朝鮮を如何に抑止するか

●非核三原則の段階的廃止

- 第一歩:「持ち込ませず」を廃止、米国のIRBMを持ち込む
- 第二歩:「持たず、作らず」の廃止、日本の核アレルギー克服が前提

●トランプ政権:新たな核戦略「核態勢見直し(NPR)」公表(2月)

- ロシアの核戦略強化に対応
- 中国のIRBMに対応――ロシアとの中距離核戦力(INF)全廃条約で"自縄自縛"
- 同盟国重視 ⇒ **核の傘のリニューアル**

# 日本の覚悟

●アメリカが

- ➢北朝鮮を攻撃しない
- ➢北朝鮮の核を容認する・・・ICBMかIRBMかの選択

●日本の核アレルギーが払拭されない限り

⇒⇒アメリカの「破れ傘」のリニューアルでしか対応できず

# ま　と　め

- アメリカは「**氷河型社会**」
  - ➢社会・政治体制が少しずつ絶えず変化
    **※フリードマン「続・100年予測」**

- 日本は「**地震型社会**」
  - ➢長期間変化せず、突如として体制瓦解・大変革
  - ➢明治維新、第二次世界大戦の敗戦
  - ➢戦後レジームは、**流血の惨事**を経なければ克服できないのか？！